

【試合結果】

男子 決勝トーナメント 3位決定戦										
日時	平成31年1月7日 (月) 13:00 ~									
会場	伊達市総合体育館 Bコート									
結果	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="text-align:center; width:50%;"> <b>札幌真栄</b> 札幌             </td> <td style="font-size:2em; vertical-align:middle;">}</td> <td style="text-align:center; width:50%;"> <b>美幌北</b> 北見             </td> </tr> <tr> <td style="text-align:center; vertical-align:middle;">38</td> <td></td> <td style="text-align:center; vertical-align:middle;">53</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align:center;">                 16 - 13                  9 - 14                  10 - 12                  3 - 14                  OT             </td> <td></td> </tr> </table>	<b>札幌真栄</b> 札幌	}	<b>美幌北</b> 北見	38		53		16 - 13 9 - 14 10 - 12 3 - 14 OT	
<b>札幌真栄</b> 札幌	}	<b>美幌北</b> 北見								
38		53								
	16 - 13 9 - 14 10 - 12 3 - 14 OT									
審判	主審 佐藤 淳 副審 松居 晋吾 水嶋 星陽									

第33回北海道中学校バスケットボール新人大会



【ボックススコア】

札幌真栄		札幌						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	篠原 壘	×	9	1	3	0	8	0
5	大井 理生	×	8	1	2	1	4	2
6	川尻 達也	×	6	0	3	0	2	0
7	鈴木 温大	×	8	2	0	2	0	1
8	齋藤 真夢	×	7	1	0	4	1	0
9	若崎 勇智	DNP						
10	阿波 大希	DNP						
11	花房 零哉	DNP						
12	管野 光希	DNP						
13	花野 優太	DNP						
14	下村 颯音	DNP						
15	中田 陸生	DNP						
16								
17								
18								
HC	太田 祥史							
合計			38	5	8	7	15	3

美幌北		北見						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	水島 直哉	×	6	0	3	0	5	2
5	田岡 周多朗	×	20	4	4	0	13	1
6	石澤 碧	×	10	0	5	0	1	2
7	長縄 祐輝	DNP						
8	宮村 悠大	×	5	1	1	0	1	0
9	尾本 琉伊	DNP						
10	佐藤 翔	DNP						
11	伊藤 志竜宇	DNP						
12	田岡 雅埜	×	6	0	3	0	4	2
13	大浦 武蔵	DNP						
14	坂口 佑斗	/	6	0	3	0	3	1
15	浦野 朔空	DNP						
16	山田 悠司	DNP						
17	大野 力矢	DNP						
18	上野 真二郎	DNP						
HC	福岡 信也							
合計			53	5	19	0	27	8

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし  
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

南大会1位の札幌真栄中学校 対 北大大会1位的美幌北中学校の3位決定戦。  
 1Q札幌真栄#4・5・6・7・8・9、美幌北#4・5・6・8・12でスタート。真栄は#8のドライブや3P#4アウトサイドシュートで流れを作る。対する美幌北は#6のインサイドを起点に中外バランスよくボールを展開し点数を重ねる。互いに流れを譲らない展開が続く中、真栄#4のジャンプシュート、#5の3Pで真栄3点のリードを奪い16-13で1Q終了。  
 2Q札幌真栄#4・5・6・7・8・9、美幌北#4・5・6・8・12でスタート。真栄#4のジャンプシュートで流れを掴もうとするも、美幌北#5のジャンプシュート、3Pで逆転する。美幌北の堅い守りになかなか得点をする事ができず、開始3分40秒、美幌北#8の3Pが決まり18-25。真栄たまたまタイムアウト。その後、真栄が粘り強いオフェンスで得点を重ねるも25-27と美幌北リードで前半を終えた。  
 3Q札幌真栄#4・5・6・7・8・9、美幌北#4・5・6・12・14でスタート。真栄#5がジャンプシュートを決め同点にし流れを掴もうとするも、すぐに美幌北も得点を決め返す。両者互角の戦いが続き2点差の展開は変わらない。残り40秒、美幌北#4のドライブが決まり美幌北に流れが傾いたところで35-39、4点リードで3Q終了。  
 4Q札幌真栄#4・5・6・7・8・9、美幌北#4・5・6・12・14でスタート。一進一退の展開は変わらない。開始1分20秒、美幌北#14のシュートから点数が動き出す。真栄も攻め込むがなかなか加点できない。美幌北は#6のインサイドを効果的に使い、開始2分40秒10点差をつけたところでたまたま真栄タイムアウト。ディフェンスで変化をつけた真栄に対し、美幌北は冷静に対応する。その後粘り強くオフェンスを展開させようとするも真栄はなかなかシュートを決める事ができない。終始リバウンドを制し、堅い守りを見せた美幌北が38-53で勝利した。  
 なかなか得点の決まらない苦しい展開にも、最後まで諦めず戦い抜いた両チームの健闘を称えたい。